

令和3年度 事業計画

日本アルコール産業株式会社

令和3年3月29日

令和3年度の事業運営の基本方針

令和3年度は、昨年度に引き続き、中期ビジョン（2019～2023年度）の諸施策を推進し、長期的展望に立ち、速やか且つ強力に、発酵、合成を問わず、供給予備力の整備、強化を推進します。

アルコール事業は、鹿島工場の新系列建設に取り組むとともに、各工場の限界生産を継続し、需給構造の変動に柔軟に対応しつつ、日本合成アルコール株式会社における合成アルコール供給力の強化を支援します。関連事業は、発酵製品事業の事業基盤の再構築を確立します。

また、新卒採用予定者数を確保し、人材育成と組織の活性化を図るとともに、DX推進を通じた業務の改革を推進し、働きやすい職場環境の整備に取り組みます。

I. アルコール事業

■ 発酵アルコールの供給予備力の充実

- 2021年度に鹿島工場の99度蒸留設備の能力増強、出水工場の蒸留塔更新工事、磐田工場の製品タンクの増設工事、袖ヶ浦作業所のタンク更新工事を完了します。
- 2022年度に鹿島工場の製品及び原料タンクの増設工事、出水工場の製品タンク増設工事を完了します。
- 鹿島工場の新系列建設は2023年度中の完成を目指します。
- 需要に応じたサプライチェーンマネジメントを徹底します。当分の間、3工場の限界生産を継続し、需給の構造変動に柔軟に対応します。
- ウルサン原料貯蔵設備を効率的に運用し、発酵アルコール原料の安定的調達と工場への安定回送を図ります。
- グループ品質管理体制の強化を図ります。
- 販売用途拡大のため、酒類製造免許取得について検討を行います。

- **合成アルコールの販売数量の維持と供給力の強化**
 - ・ **販売数量の維持、拡大に努め、日本合成アルコール株式会社における合成アルコール供給力の強化を支援します。変動する需給構造に的確に対応し、合成アルコール市場の維持を図ります。**

II. 関連事業

- **事業体制の整備と戦略営業の推進により、中長期的な事業基盤を構築します。**
 - ・ **営業、製造、技術の担当からなる出水事業所を設置します。**
 - ・ **前年度に積み上げた営業実績を踏まえ、目的を明確にした営業に取り組みます。**
 - ・ **的確な製造管理を実施します。**

Ⅲ. 技術力の強化

- 鹿島工場の系列増強プロジェクトを通じ、社員の技術力の向上を図ります。また、運転条件、コスト、プロセス変更の検討のため、蒸留プロセスシミュレーション技術等の更なる活用拡大を図ります。

Ⅳ. 人材力の向上

- 計画的な採用、グループでの教育訓練、研修、資格取得を通じ、人材力の向上を図るとともにグループ人事交流による人材活用を図ります。

Ⅴ. DX推進を通じた業務の改革の推進

- DXを検討、実施し、あわせて情報基盤の安定的運用と充実を図ります。

VI. 安定配当の継続

- 適正な営業利益の確保に努め、安定配当を継続します。

収支計画概要

以上の取り組みにより、令和3年度事業計画では、以下の目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

売上高	25,820
営業利益	599
経常利益	602